

科目名	政治・経済	英語科目名	Politics and Economics
開講年度・学期	平成 27 年度・通年	対象学科・専攻・学年	2 年 電気電子創造工学科 L・R
授業形態	講義	必修 or 選択	必修
単位数	2 単位	単位種類	履修単位
担当教員	岡田一郎	居室（もしくは所属）	非常勤講師控室（管理棟 1 階）
電話	0285-20-2100	E-mail	tueno@oyama-ct.ac.jp (連絡担当教員：上野哲先生)
授業の到達目標	授業到達目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育目標 (JABEE)	JABEE 基準要件
1, 新聞・TV 等で報じられている内容の背景について理解し、それを他者に正しく説明することができること。	① ⑥	D E	b f
2, 政治や経済のあり方について自分なりの意見を述べるができること。	② ④	B E	a f
3, メディアリテラシーを身につけ、マスコミの報道を鵜呑みにせず、特定の事項について自分で情報を取捨選択することができること。	⑤	B E	e
4, 社会の一員としての自覚を持ち、積極的に社会活動などに参加することができること。	① ⑥	D	b
<b>各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法</b>			
上記 4 点について、前期後期それぞれの中間試験と定期試験、確認テスト、授業中の発言や報告によって総合的に評価し、60%以上の成績で達成とする。			
<b>評価方法</b>			
前期後期それぞれの中間試験・定期試験の平均点 80% 授業中の確認テスト・発言および報告 20%			
<b>授業内容</b>	<b>授業内容に対する自学自習項目</b>		<b>自学自習時間</b>
1, 近代民主政治の発展 2, 現代民主政治の展開 3, 政治制度と現代の世界 4, 日本国憲法制定までの道のり 5, 日本国憲法の基本的性格 6, 日本国憲法と平和主義 7, 自由権 8, 前期中間試験 9, 平等権 10, 社会権 11, 新しい人権 12, 国会と内閣 13, 裁判所と裁判員制度 14, 地方自治 15, 政党政治と選挙制度 前期定期試験 16, 国際連合と地域統合 17, 冷戦のはじまり 18, 冷戦の展開 19, 冷戦の集結と現代世界 20, 経済思想 21, 市場機構とそのはたらき 22, 金融のはたらき 23, 後期中間試験 24, 日本経済のあゆみ 25, IT 革命と知識集約型産業 26, 今日の雇用問題と労働条件 27, 国際分業と貿易の利益 28, 外国為替と国際収支のしくみ 29, グローバル化の進展と国際経済 後期定期試験 30, テストの解説・1 年間のまとめ	授業前に中学校社会科公民分野の該当分野を復習すること。		毎回、授業前に 1 時間の予習をおこなうこと。
<b>自学自習時間合計</b>			<b>30 時間</b>
<b>キーワード</b>	民主主義・人権・平和主義・資本主義・メディアリテラシー		
<b>教科書</b>	中村研一ほか『高等学校 現代政治・経済 最新版』清水書院		
<b>参考書</b>	授業中に適宜紹介する		
<b>カリキュラム中の位置づけ</b>			
前年度までの関連科目	地理		

現学年の関連科目	なし
次年度以降の関連科目	倫理・社会、歴史、歴史学、哲学、人間と科学 I / II
連絡事項	
1, 授業では授業内容に関連したビデオを上映する。中間・定期試験ではその感想についても尋ねるので、ビデオは真面目に視聴すること。 2, 授業の詳細や注意事項については授業第一日目に連絡する。	
シラバス作成年月日	平成 27 (2015) 年 2 月 4 日

## 履修単位様式

科目名	英語科目名		
開講年度・学期	対象学科・専攻・学年		
授業形態	必修 or 選択		
単位数	単位種類		
担当教員	居室（もしくは所属）		
電話	E-mail		
授業の到達目標	授業到達目標との対応		
	小山高専の 教育方針	学習・教育到達 目標(JABEE)	JABEE 基準
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
評価方法			
授業内容			
キーワード			
参考書			
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目			
現学年の関連科目			
次年度以降の関連科目			
連絡事項			
シラバス作成年月日			